

## 「情報公開文書」

### 研究課題名：

当施設における鉗子を用いたコールドポリペクトミー導入と治療の実際

### 研究責任者：

所属：宮城県対がん協会がん検診センター 看護課 職名 看護師

氏名 齋藤 純子

#### 1. 研究の対象

2021年4月から2021年9月に宮城県対がん協会で大腸内視鏡検査の受診者で、小ポリープに対する大腸ポリープ切除(治療)の説明・同意書にて、切除希望の有無を確認した受診者。

#### 2. 研究目的・方法

大腸腺腫に対するポリペクトミーは、大腸がんによる死亡率減少に繋がることが報告されている。本邦において、大きさが5mmを超えるポリープについては積極的に切除が行われており、当施設もこれらポリープを認めた際には治療可能な病院へ紹介をしている。一方、がん化のリスクが低い5mm未満の小型ポリープは、治療に伴う偶発症のリスクがあることから切除せず経過観察としてきた。近年、小型ポリープの治療法として高周波装置を使用せず鉗子を用い切除する、コールドポリペクトミー (Cold Forceps Polypectomy; CFP) が高周波を用いたポリペクトミーと比較し偶発症が少なく比較的 안전한治療法であることが示され、2021年4月から当施設に導入した。本研究は、当院におけるCFP導入後の現状と問題点を検討し、より安全性が高い治療の提供を目指すことを目的とした。方法は、診療録から、研究対象者の背景因子(性別、年齢など)、CFP希望者の割合、非希望者の理由、治療成績(内視鏡所見、病理組織学的所見、組織回収率、偶発症の割合)を調査し、当院におけるCFP導入前後の取り組み(説明書・同意書、CFP確認表やCFP治療後注意書の作成、デバイスの選定、メーカー講習)の問題点を検討する

研究機関：2021年10月(倫理委員会承認後)から2022年3月まで

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象者の背景因子(性別、年齢など)、CFP希望者の割合、非希望者の理由、治療成績(内視鏡所見、病理組織学的所見、組織回収率、偶発症の割合など)等

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

**照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：**

公益財団法人 宮城県対がん協会がん検診センター TEL：022-263-1525